

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名：一般国道168号 川津道路	事業区分：一般国道	事業主体：奈良県			
起終点：自：奈良県吉野郡十津川村川津 至：奈良県吉野郡十津川村上野地		延長：3.2km			
事業概要：一般国道168号川津道路は、地域高規格道路「五條新宮道路」の一部であり、紀伊半島における大規模災害に備えた紀伊半島アンカールートを形成する重要な路線である。本事業は、幅員狭小・線形不良・異常気象時の通行規制の解消、五條・吉野地域の活性化及び観光・林業の振興支援を目的とする。					
H17年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H18年度用地着手			
		H18年度工事着手			
全体事業費	74億円	事業進捗率	48%	供用済延長	2.1km
計画交通量	3,900台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	1.3	総費用 (残事業)/事業全体 26/43億円 事業費：25/42億円 維持管理費：0.34/0.34億円	総便益 (残事業)/事業全体 93/93億円 走行時間短縮便益：80/80億円 走行経費減少便益：11/11億円 交通事故減少便益：2.1/2.1億円	基準年 平成23年
	(残事業)	3.7			
感度分析の結果					
交通量変動		B/C=4.0 (交通量+10%)		B/C=3.3 (交通量-10%)	
事業費変動		B/C=3.3 (事業費+10%)		B/C=4.1 (事業費-10%)	
事業期間変動		B/C=4.3 (事業期間+2年)		B/C=3.9 (事業期間-2年)	
事業の効果等 幅員狭小の解消、線形不良の解消、大規模災害等の迂回の解消 観光・地域産業の振興、緊急医療支援					
関係する地方公共団体等の意見 十津川村、和歌山県田辺市で構成される国道168号(十津川～本宮間)整備促進協議会等から、早期整備を求める強い要望が上がっている。					
事業評価監視委員会の意見 「事業継続」を妥当とする。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 吉野郡十津川村の世帯数はわずかに減少しているものの、人口については500人弱(約10%)の減少が見られる。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 残る2工区の用地買収 新河津橋の橋脚、橋台工事、上部工工事および路肩構造物工事					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 計画的な事業進捗に努め、早期完成を目指す。					
施設の構造や工法の変更等 土質不安定層を避けるためのルート変更					
対応方針 事業継続					
対応方針決定の理由 川津道路は、事業の必要性、事業進捗状況等から総合的に判断した結果、事業継続とし、今後も、計画的な事業進捗に努め、早期完成を目指す。					
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。